石川県
指定史跡

安宅の関

あたかのせき

ATAKA NO SEKI
BARRIER

歌舞伎「勧進帳」の舞台

石川県小松市

いしかわ
歴史遺産
認　定

智、仁、勇の心を伝える歌舞伎「勧進帳」

壇の浦合戦で平家を滅ぼした源義経は、鎌倉幕府の樹立を謀ろうとする兄頼朝と対立して追われ、奥州平泉の藤原氏のもとへ落ちのびようとしました。頼朝はこれを捕らえようと各地に新関を設けます。

文治三年(一一八七年)、山伏姿に変装した義経一行が安宅の関を通ろうとすると、関守・富樫左衛門が義経一行と疑います。この危機を乗り切るため武蔵坊弁慶は、東大寺復興勧進のため諸国を廻る役僧と称し、即興で「勧進帳」(寄付集めの趣意書)を読みあげます。さらに強力姿の義経が咎められると、疑念をはらすため金剛杖をもって主君義経を打ち据えます。富樫は弁慶の主君を守ろうとする忠誠心に心をうたれ、義経と知りつつも主従の通行を許すのでした。

この物語は能「安宅」、歌舞伎「勧進帳」として広く知られ、平安の歴史ロマンを今に伝えています。

古代より続く陸と海の交通の要「安宅」

弥生時代より、加賀、能登の地域は海を介して出雲や朝鮮半島、中国東北部と深く関わっていました。平安時代には、安宅湊は加賀国府の外港としての役割を担い、日本海交通の要地の一つであったと思われます。また、奈良時代以降、古代北陸道(ほくろくどう)が整備されると、安宅に駅家(うまや)が置かれ、陸と海の交通の要として栄えました。

また、安宅は義経一行がこの地を通過した時の勧進帳伝説が有名ですが、木曽義仲が倶利伽羅合戦の後、平維盛軍を追撃して戦った安宅合戦など、源平の激戦地でもあります。その後、越後大井田氏経と富樫高家との戦いや、加賀の一向一揆と越前朝倉氏との争い、織田信長の南加賀進攻など、幾度もの合戦の記録がみられます。

江戸時代に入り、加賀前田家三代利常公が小松城と小松町を整備すると、安宅はその外港的役割を担い、海運業で栄えました。特に北海道から日本海各地を廻り、瀬戸内、大阪との売り買い商売で大きな利益を得た北前船が盛んになると、その寄港地として繁栄し、多くの船主や廻船問屋が生まれました。安宅の町には北前船の歴史的建物や風習が多く残り、往時のにぎわいを感じさせます。

交通のご案内

飛行機で

札幌(新千歳)	1時間30分
仙台	1時間
成田	1時間10分
羽田	1時間
福岡	1時間15分
那覇	2時間10分
ソウル(仁川)	1時間40分
上海(浦東)	2時間20分
台北	3時間

列車・バス・車で

東京	新幹線(金沢経由)	3時間
	高速バス(八王子行き)	8時間50分
大阪	特急電車	2時間10分
	高速バス	4時間10分
	車	3時間30分
名古屋	特急電車	2時間10分
	高速バス	3時間10分
	車	2時間30分

※JRの時間は最速列車の場合です

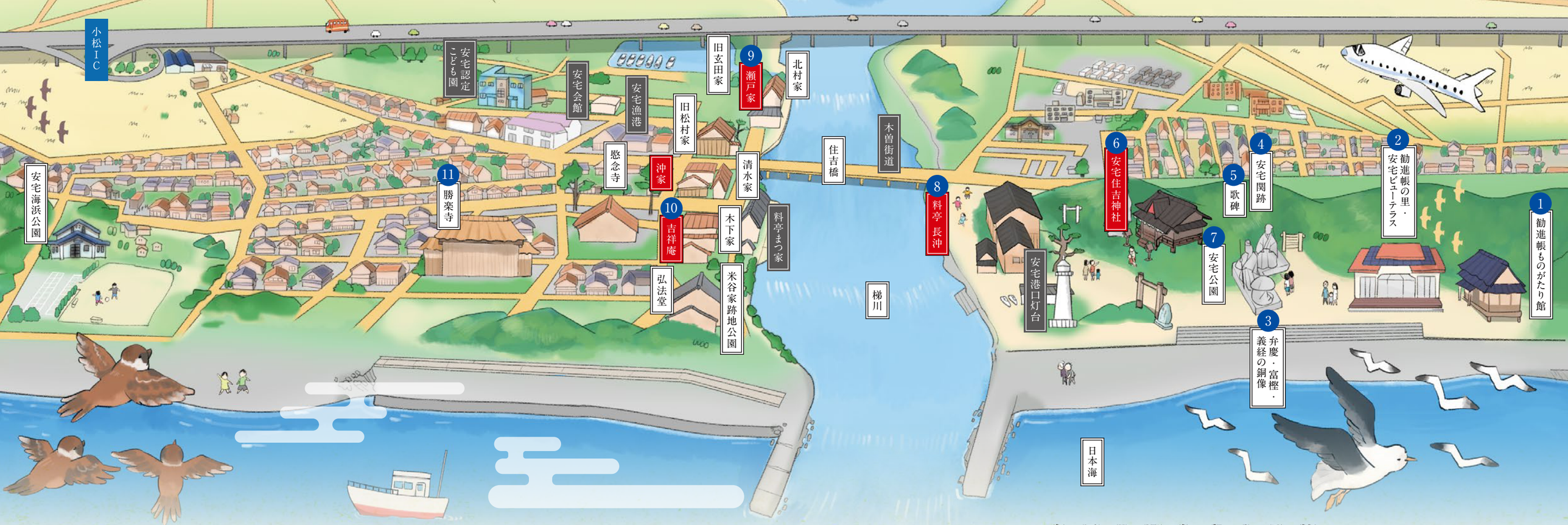
お問い合わせ

安宅ビューテラス・勧進帳ものがたり館　石川県小松市安宅町タ140-4
TEL:0761-21-6734　営業時間／売店9:00～17:00　カフェ11:00～21:00(20:30L.O.)
定休日／水曜日、年末年始

(一社)こまつ観光物産ネットワーク　石川県小松市土居原町710(こまつ芸術劇場うらら内)
TEL:0761-21-8208　http://www.komatsuguide.jp/

「いしかわ歴史遺産」とは

いしかわ県内の各地に点在する文化財や歴史、伝承、風習等をわかりやすいストーリーにまとめ、全国にその魅力を発信することを目的に創設。平成28年1月「平安の世の歴史物語が息づく歌舞伎のまち・小松」が認定を受けた。

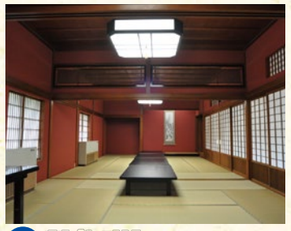


松林の砂丘に吹く潮風が語る遥か古のロマン

能『安宅』、歌舞伎『勧進帳』の舞台としてその名を知られる『安宅の関』。小松市を流れる梯川の河口に位置し、古代から陸と海の交通の要地であり、合戦の場でもありました。江戸時代の中頃から明治にかけては、北前船の寄港地としても繁栄し、風情ある街並みにはその歴史文化が色濃く残っています。

10 吉祥庵

北前船の廻船問屋、米谷家が興した米谷銀行（現北國銀行）の第1号支店跡。茶室としても利用されている。明治24年建築。



8 料亭 長沖

金剛の間は北前船主松村家の離れを移築した大広間で国の文化財に登録されている。

6 安宅住吉神社

奈良時代、天応2年（782）に創建されたと伝えられる名社。全国唯一の難関突破の守護神。宝物には勧進帳の錦絵や江戸時代の大仏再興を勧進する東大寺勧進帳がある。

4 安宅関跡

石川県指定の史跡「安宅関跡」は、海を見渡す松林の中にある。

1 勧進帳ものがたり館

歌舞伎「勧進帳」をダイジェスト版で見ることができるシアターゾーンをはじめ、勧進帳にまつわる貴重な資料を展示。

3 弁慶・富樫・義経の銅像

安宅関跡のすぐそばに建つ。歌舞伎「勧進帳」の一場面を模して創られた。

11 勝楽寺

関守富樫の配慮で義経一行が休憩したとされ、弁慶のほら貝が寺に伝わる。（非公開）

9 瀬戸家

北前船で財を成した豪商・瀬戸家の邸宅。豪華な花嫁衣裳や家財道具が大切に保管されている。

7 安宅公園

「日本の歴史公園100選」にも選ばれる松林に囲まれた日本を代表する静かな海辺の歴史公園。安宅海岸は「白砂青松100選」にも選ばれている。

5 歌碑

昭和8年歌人与謝野晶子が安宅住吉神社に参詣し、往事に思いを馳せ10数首の短歌を残している。

2 勧進帳の里・安宅ビューテラス

3体の銅像の前にある日本海を一望できるレストハウス。地元食材を使った食事やショッピングが楽しめる。

は構成文化財

日本の歴史的・文化的な一連のストーリーを文化庁が認定。平成30年5月、小松市は日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の認定を受けた。

JAPAN HERITAGE 日本遺産